



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月29日

上場会社名 株式会社 オートバックスセブン 上場取引所 東
 コード番号 9832 URL https://www.autobacs.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 堀井 勇吾
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 高野 浩之 TEL 03-6219-8787
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	52,853	1.1	1,564	3.1	1,821	6.6	1,755	62.8
2022年3月期第1四半期	52,283	—	1,517	—	1,708	—	1,078	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 3,214百万円 (124.3%) 2022年3月期第1四半期 1,433百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	22.52	—
2022年3月期第1四半期	13.50	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	183,372	123,774	67.3	1,583.55
2022年3月期	189,910	122,892	64.5	1,572.48

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 123,411百万円 2022年3月期 122,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	0.6	10,000	△13.4	10,300	△8.4	6,900	△1.6	88.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	82,050,105株	2022年3月期	82,050,105株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	4,116,868株	2022年3月期	4,116,555株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	77,933,409株	2022年3月期1Q	79,856,786株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大による厳しい状況が緩和され、持ち直しの動きがみられ緩やかな回復基調となりました。一方で、原油や原材料価格の高騰などを背景とした国内景気の下振れリスクが懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

国内の自動車関連業界の動向といたしましては、世界的な半導体不足や中国における感染再拡大による部品調達難の影響で新車の生産台数が減少し、加えて、中古車においても下取り車の流通量の減少により登録台数の低迷を招いております。また、カー用品関連においても、原油や原材料価格の高騰などを受け小売価格改定の動きが顕著になり、厳しい市場環境におかれております。

当社グループにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、ご来店される地域の皆様、お取引先様、従事する従業員の健康と安全を最優先に、安心してご来店、就業できる環境整備に努めております。

このような環境下において当社グループは、社会・クルマ・人の暮らしの変化を捉え適応することで、市場競争力の向上に努めております。当社グループが向かうべき方向性を示す「5ヵ年ローリングプラン」では、より成長の可能性の高い領域への集中を図り、持続的成長と企業価値向上に向けてネットワークおよび事業基盤の強化と事業の推進をしております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高528億53百万円（前年同期比1.1%増加）、売上総利益179億93百万円（同1.9%増加）、販売費及び一般管理費164億28百万円（同1.7%増加）、営業利益15億64百万円（同3.1%増加）、経常利益18億21百万円（同6.6%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益17億55百万円（同62.8%増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内オートバックス事業〕

国内オートバックスチェーン（フランチャイズ加盟法人店舗を含む）の全業態の売上高は、前年同期比で既存店が3.4%の増加、全店が3.7%の増加となりました。

国内オートバックスチェーンでは、車は生活する上で重要なインフラであることから、お客様の安全・安心な車生活を守るため、お客様と従業員の接触機会を最小限にするなど、新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限配慮し営業しております。

新型コロナウイルス感染拡大による影響は持ち直しの動きがみられたことに加え、新車・中古車の登録台数が減少したことにより、既存車に乗り続けるために必要なタイヤ、オイル、バッテリーなどの車両メンテナンス需要が高まり好調に推移いたしました。また、これらの商品にとまなうサービス工賃も好調となりました。一方で、原油や原材料価格の高騰などを受け一部商品で価格改定を行いました。販売促進の強化をしたことなどにより、結果として堅調に推移いたしました。

タイヤについては、メーカー値上げを受け5月に店頭での価格改定を行いました。品ぞろえや販売促進、既存車のメンテナンス需要により好調に推移し、売上が増加いたしました。オイルやバッテリーも価格改定後の反動減が見込まれたものの、効果的な販売促進に加え、メンテナンス需要の高まりにより好調に推移いたしました。カーエレクトロニクスについては、新車の減産の影響により需要が減少し、売上が減少いたしました。

プライベートブランドについては「AQ.（オートバックスオリティ.）」や、心躍るガレージライフを提案するブランド「GORDON MILLER（ゴードンミラー）」のラインアップを増やし、自信をもっておすすめできる価値ある商品の開発・販売を推進しております。加えて、店舗におけるオペレーション改革を推進するとともに、売場改善やピット設備などの改修を進めました。

車検・整備については、お客様の利便性向上と接触機会低減の取り組みとして、公式アプリや電話でのピット作業予約の推進をしており、特に公式アプリからの予約が増加しております。また、運転支援機能や自動運転機能が付いた先進安全自動車を整備するために設けられた「自動車特定整備制度」への対応を進め、車検指定工場の全店が特定整備認証（電子制御装置整備）を取得しており、今後は指定工場以外の店舗も含めた全店での取得を目指しています。なお、車検実施台数は、車検対象車両台数の減少を背景とした厳しい市場環境により、前年同期比6.7%減少の約14万7千台となりました。

車買取・販売は、新車減産の影響を受けたものの、中古車の単価上昇や買取台数の増加を背景にオークションへの販売が好調に推移いたしました。これらにより、国内オートバックス事業における総販売台数は前年同期比8.1%増加の約7千4百台となりました。

国内における出退店は、新規出店が1店舗、退店が1店舗、業態変更が1店舗あり、2022年3月末から増減なしの588店舗となりました。

これらの結果により、国内オートバックス事業の売上高は405億62百万円（前年同期比1.6%増加）となり、セグメント利益は37億86百万円（前年同期比0.8%増加）となりました。

〔海外事業〕

海外事業における売上高は31億71百万円（前年同期比22.5%増加）、セグメント損失は2億2百万円（前年同期は1億47百万円のセグメント損失）となりました。

小売・サービス事業においてはウクライナ情勢と新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの売上は増加し、加えて卸売事業においては新規取引先の開拓などにより売上が伸びました。

フランスにおいては、インフレやウクライナ情勢の影響により個人消費が低迷したものの、売上は前年同期を上回りました。シンガポールにおいては、堅調な小売に加え、並行輸入商品の取り扱いやビットサービスの好調により、売上が増加いたしました。マレーシアにおいては、オンラインデパートの拡大により卸売が好調で、売上が大幅に増加いたしました。中国においては、新型コロナウイルスの感染拡大によるロックダウンがあり、新規卸売先の獲得に苦戦したものの、中国国外への卸売を進め売上が増加いたしました。オーストラリアにおいては、カーエレクトロニクス商品や無線機が堅調で新たな卸売先の開拓や専売品の導入などの営業活動により売上が増加いたしました。

海外における出退店は、新規出店が4店舗あり、2022年3月末の62店舗から66店舗となりました。

〔ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業〕

ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業における売上高は108億80百万円（前年同期比7.5%減少）、セグメント損失は91百万円（前年同期は45百万円のセグメント損失）となりました。

ディーラー事業は、当社の完全子会社である株式会社オートバックス・ディーラーグループ・ホールディングスがBMW、MINI、Audiの3ブランドの正規ディーラーを運営しており、世界的な半導体不足による新車の減産の影響を強く受けたことにより売上が減少いたしました。効率的な運営に努め、前年同期並みの営業利益を確保いたしました。このような環境下、営業活動において、特に丁寧な顧客対応により長期にわたる顧客関係構築を図っております。

BtoB事業は、車検・整備・タイヤ販売を行う子会社についてメンテナンス需要を背景に売上は堅調に推移いたしました。また、2021年11月に本格稼働した社用車のメンテナンスやカー用品などの法人一括払いが可能となる「オートバックス法人会員制度」への加入件数が増加いたしました。

オンラインアライアンス事業は、ECサイトにおいてカーライフに役立つ情報提供の強化を進めるとともに、車種別専用パーツ特集の充実を図りました。さらにECサイトを通じて、購入から店舗取付まで一貫したサービスを提供することを目指しております。また、飲酒運転の根絶を目指し、社用車を運転する前のドライバーの酒気帯び状態をチェックし、その情報をクラウド上で管理する法人向けサービス「ALCクラウド」の拡大を図っております。

〔その他の事業〕

その他の事業における売上高は15億88百万円（前年同期比30.1%増加）、セグメント損失は1億48百万円（前年同期は2億12百万円のセグメント損失）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,800	29,168
受取手形及び売掛金	25,842	24,239
商品	21,516	23,135
未収入金	25,778	16,707
その他	10,033	9,603
貸倒引当金	△54	△57
流動資産合計	107,917	102,796
固定資産		
有形固定資産		
土地	24,529	24,533
その他（純額）	20,738	20,738
有形固定資産合計	45,268	45,272
無形固定資産		
のれん	2,215	2,184
その他	6,735	7,061
無形固定資産合計	8,951	9,245
投資その他の資産		
差入保証金	12,744	12,284
その他	15,046	13,790
貸倒引当金	△16	△17
投資その他の資産合計	27,773	26,057
固定資産合計	81,993	80,576
資産合計	189,910	183,372
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,702	15,338
短期借入金	1,724	1,787
未払金	14,480	12,188
未払法人税等	1,987	491
その他	10,901	12,184
流動負債合計	46,795	41,989
固定負債		
長期借入金	4,917	5,274
引当金	19	19
退職給付に係る負債	3,233	330
資産除去債務	2,675	2,695
その他	9,377	9,288
固定負債合計	20,223	17,608
負債合計	67,018	59,598

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,156	34,156
利益剰余金	59,442	58,858
自己株式	△7,016	△7,016
株主資本合計	120,581	119,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,308	1,990
為替換算調整勘定	1,065	1,423
退職給付に係る調整累計額	△1,406	—
その他の包括利益累計額合計	1,967	3,413
非支配株主持分	342	363
純資産合計	122,892	123,774
負債純資産合計	189,910	183,372

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	52,283	52,853
売上原価	34,619	34,859
売上総利益	17,664	17,993
販売費及び一般管理費	16,147	16,428
営業利益	1,517	1,564
営業外収益		
受取利息	13	12
受取配当金	43	42
持分法による投資利益	63	116
情報機器賃貸料	157	162
その他	276	282
営業外収益合計	555	617
営業外費用		
支払利息	18	18
情報機器賃貸費用	148	154
固定資産除却損	3	19
その他	193	168
営業外費用合計	363	361
経常利益	1,708	1,821
特別利益		
退職給付制度終了益	—	891
特別利益合計	—	891
税金等調整前四半期純利益	1,708	2,712
法人税、住民税及び事業税	506	446
法人税等調整額	112	515
法人税等合計	619	962
四半期純利益	1,089	1,750
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,078	1,755
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11	△4
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	278	△319
為替換算調整勘定	3	307
退職給付に係る調整額	54	1,406
持分法適用会社に対する持分相当額	8	68
その他の包括利益合計	344	1,464
四半期包括利益	1,433	3,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,425	3,201
非支配株主に係る四半期包括利益	7	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	国内オート ボックス 事業	海外事業	ディーラー ・BtoB・ オンライン アライア ンス事業	その他の 事業	合計		
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	38,710	2,514	9,694	786	51,705	—	51,705
その他の収益	426	—	—	151	578	—	578
外部顧客への売上高	39,136	2,514	9,694	937	52,283	—	52,283
セグメント間の内部 売上高又は振替高	802	73	2,066	283	3,226	△3,226	—
計	39,939	2,588	11,760	1,221	55,509	△3,226	52,283
セグメント利益又は 損失(△)	3,757	△147	△45	△212	3,352	△1,834	1,517

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,834百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	国内オート バックス 事業	海外事業	ディーラー ・BtoB・ オンライン アライア ンス事業	その他 の 事業	合計		
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	39,368	3,053	8,778	1,074	52,275	—	52,275
その他の収益	424	—	—	154	578	—	578
外部顧客への売上高	39,792	3,053	8,778	1,228	52,853	—	52,853
セグメント間の内部 売上高又は振替高	770	117	2,101	360	3,350	△3,350	—
計	40,562	3,171	10,880	1,588	56,203	△3,350	52,853
セグメント利益又は 損失（△）	3,786	△202	△91	△148	3,344	△1,779	1,564

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額△1,779百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載すべき重要な事項はありません。